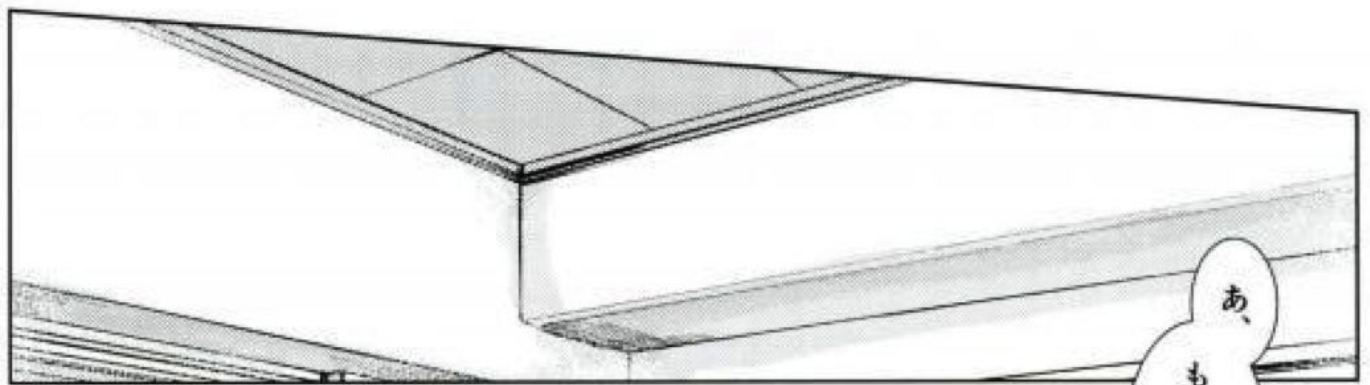




請  
念  
抱  
い  
て  
愛  
を  
叫  
べ



あ、  
もしもし？



あとは業者が  
来るの待つ  
だけかな？



うん、  
もうほとんど  
終わったよ





あーいや!  
ごめんごめん!

すごくすごく  
ありがたいです!

是非お願い  
します!!



え?  
ほんとに?

どうしたの  
今日暇なの?



じゃあ  
着いたらまた  
電話かLINE  
して?



かっちゃん

うん、待ってる



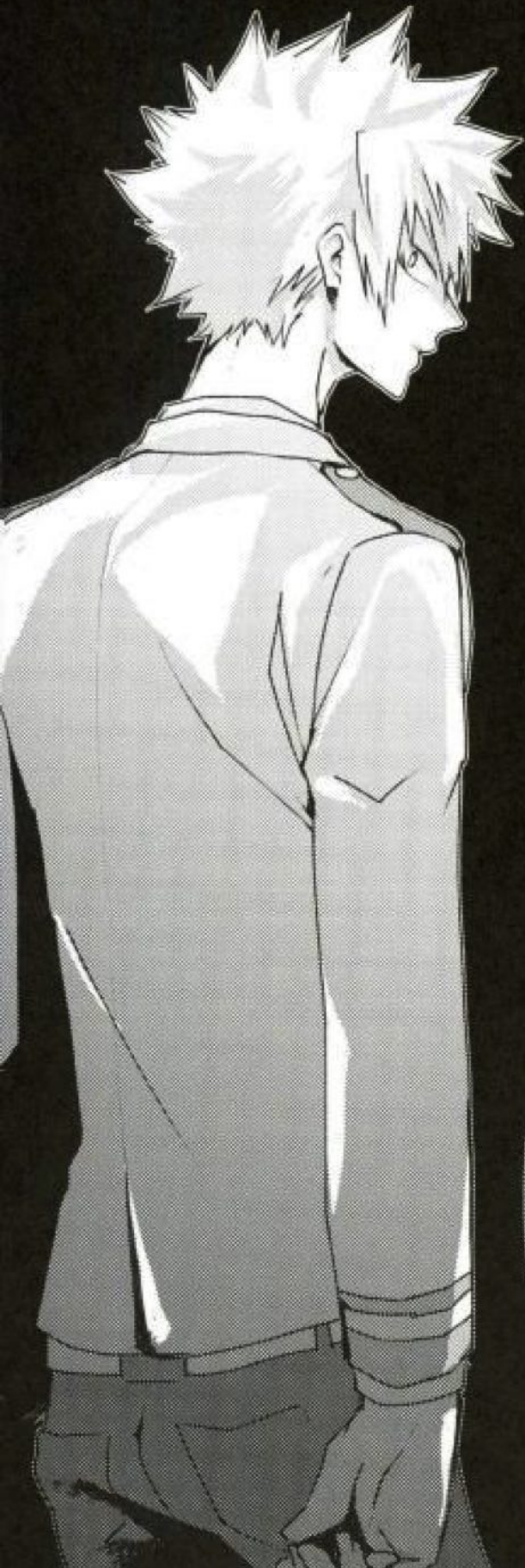




…おう







幼なじみは最高に嫌な奴でした

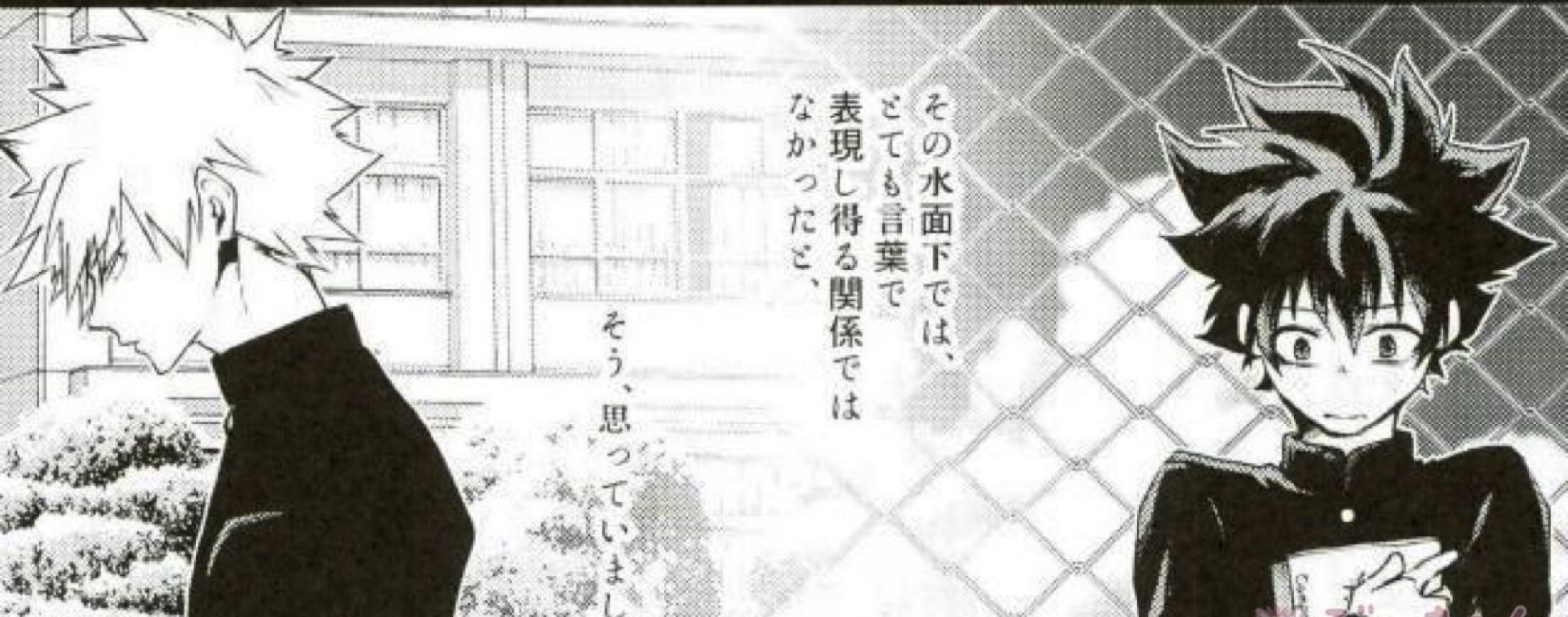






幼い頃から  
高校卒業までの  
時間を共にした  
彼と僕との関係は

表面上は  
ただの腐れ縁の幼馴染という  
珍しくもありふれた名前で  
言い表せる程度のものであり



その水面下では、  
とても言葉で  
表現し得る関係では  
なかったと、

そう、思っていました





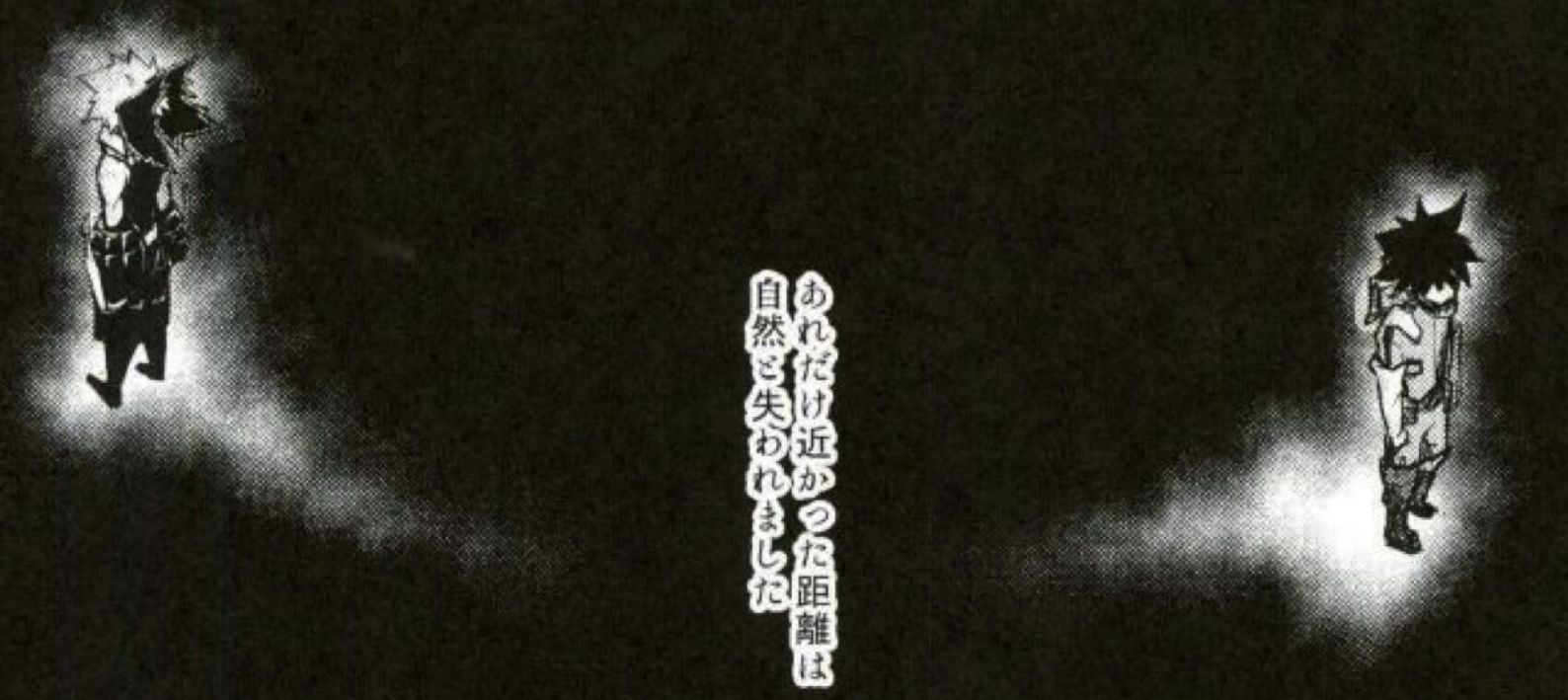
しかしながら  
『幼なじみ』  
という関係で  
あったので



僕の進路と  
彼の進路は  
同じながら  
噛み合わず



高校を卒業  
すると共に  
彼の繋がりは  
ほほほほ  
なくなりました。



あれだけ近かった距離は  
自然と失われました





僕にとつて彼は、  
テレビの中で  
活躍するヒーローとなり  
彼にとつての僕もまた  
そうなっているのだと、  
思っていました。









寂しい

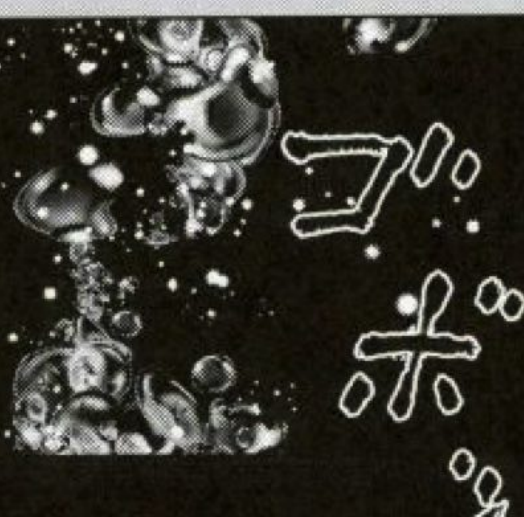


うん、



でもまあ、  
デクくんが  
気にしてない  
んだったら  
余計なお世話  
なんかな？

知らないところで







感情が死ぬ音がしました。



ほら、  
かっちゃんも  
僕も仲が良かった  
わけではないし

今までが逆に  
おかしかったんだよ

...



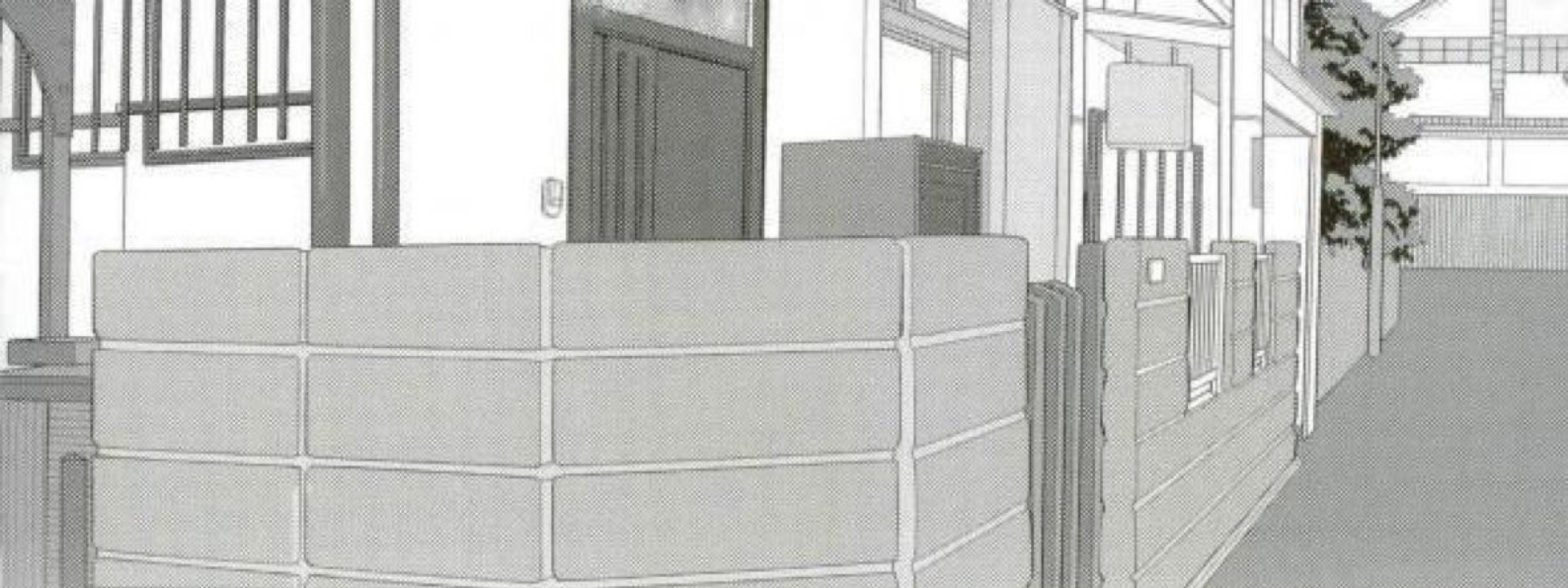
.....  
そっか

...











またね  
かつちゃんっ！







ガラガラ...

何故か救われたような  
反面、失望したような

その一言に



高3の頃

お前は俺を  
見てねえよ

いつまでも  
子供のままで  
いんなよ

俺は!!





悲しげな君の顔は  
今も脳裏に焼きついているのに



思えば  
あの会話を  
した後から  
疎遠になった  
気がする…



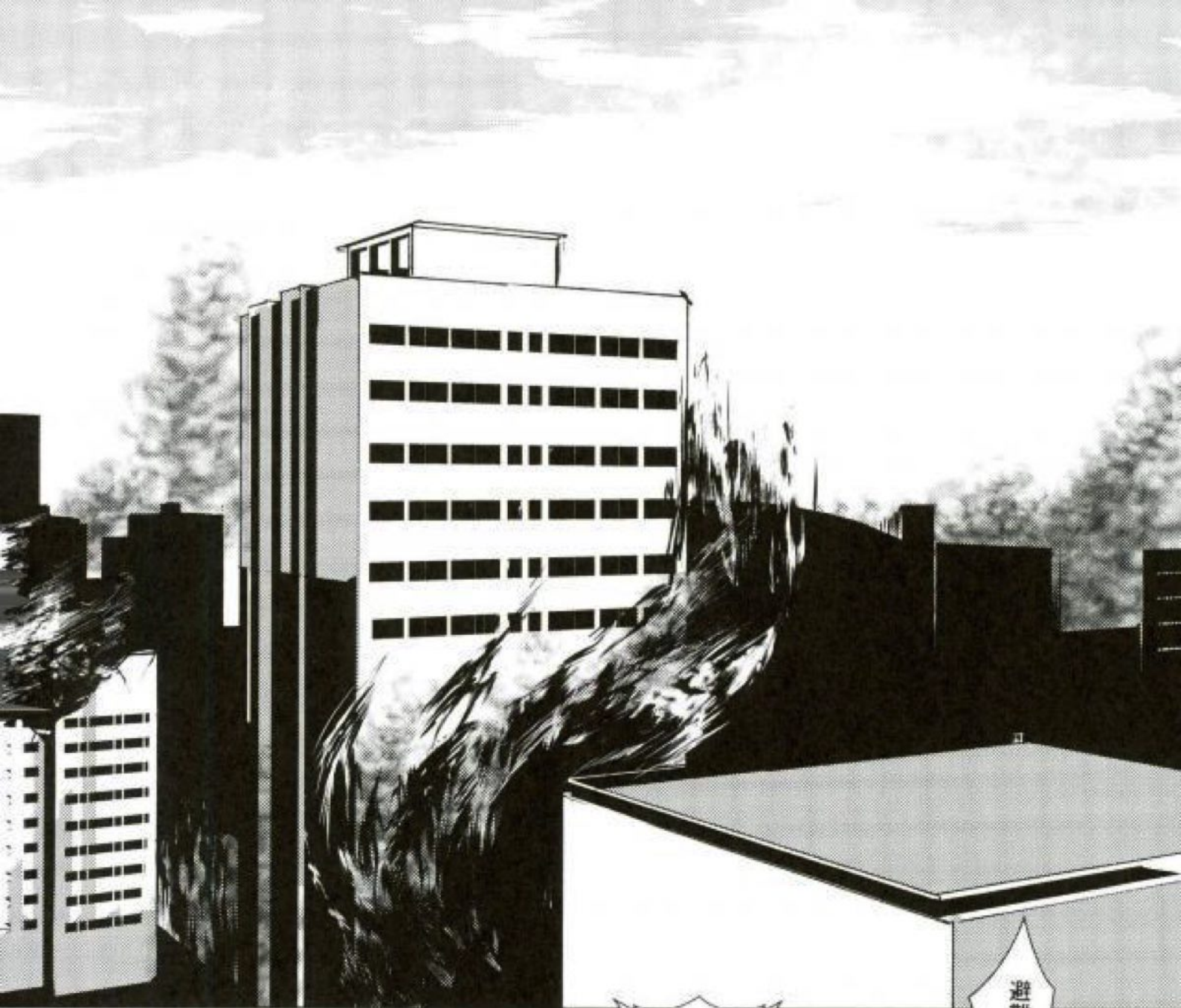
あの時僕は



あの時君は

なんと言い合ってたんだっけ





避難状況は!!

敵の護送は  
警察に任せろ!

うまああ

ニちに  
トが

しかり  
しえんさい

駄目だ!

東側はほぼ  
壊滅だ!  
火の回りが  
早過ぎる!

救助と消火を!

はやく!



報告を受けている  
中では被害にあった  
ヒーローの半数は  
こちらで保護完了

残り半数は救助に  
回っていると…

おい

他の事務所からの  
増援はまだなのか!?

現在既に  
3チームが  
増援に駆け付け  
救助を行っています!

ヒーローの  
非難状況の  
報告は!?

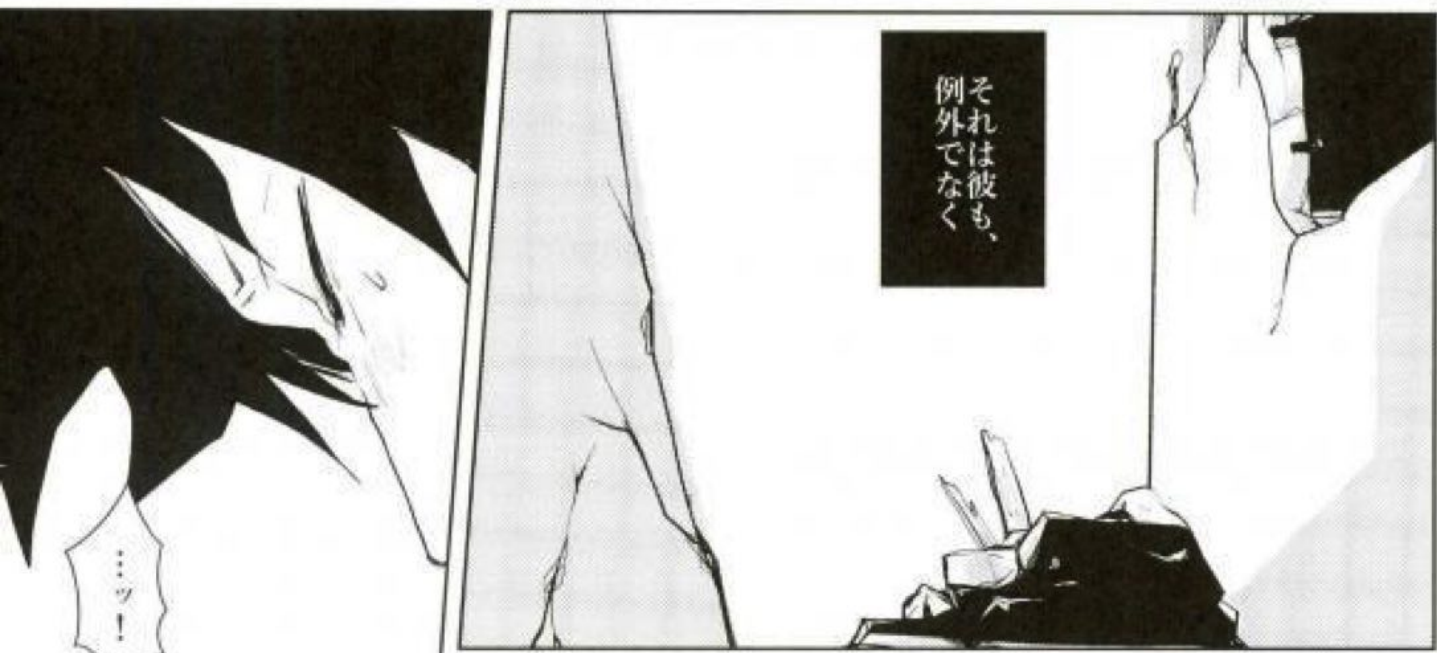
え、あ、  
アンタは…!!





多くのヒーロー事務所を  
狙った同時多発爆破テロ

救助する側の  
ヒーローの多くは  
救助される側へ



それは彼も、  
例外でなく

……ッ！





右足の感覚がない



敵を捕縛して  
警察に引き渡して  
…それから、  
ああ…  
要救助者を  
探してんだ



気を失って  
たのか…?



いや、  
この際  
どうでも  
いいか



そういう  
個性の敵  
がいたのか？  
時限性か…？  
解除方法が  
別に…？

くそ…  
足より何より  
出血が酷い、  
肩から背中  
…いや、  
もっと広範囲か？  
分からないけど



血が足りない  
…思考が鈍い  
足は、幸い左は動く

助けなければ、  
助けなきゃ  
僕は、



現状はどうなってるんだ  
喧騒が遠いってことは  
粗方收拾はついたのか？  
他に敵はいないのか？  
他のヒーローたちは無事か？  
この規模のテロなら、  
そろそろ救援があるはず…













かっ、ちゃ...

そんなことよりも



傷が痛い、どか  
足が動かない、どか

どうして君が、  
...どか





君に抱いた感情の

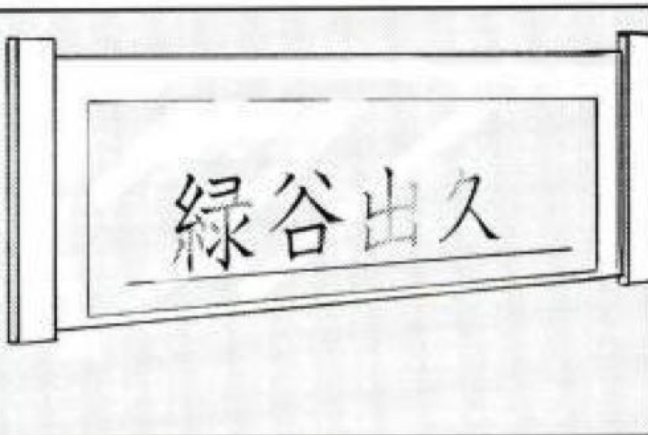
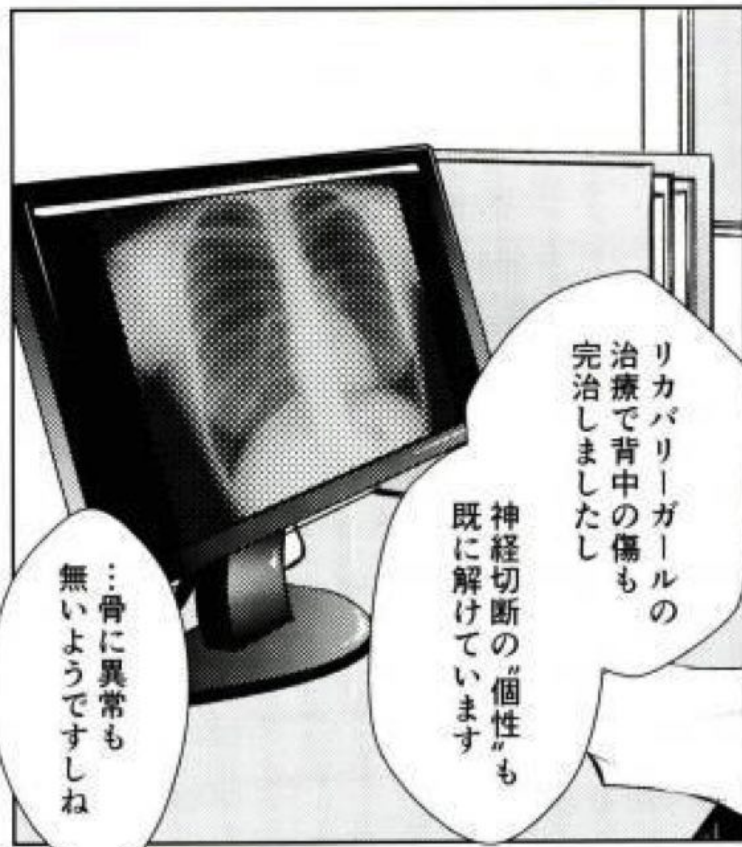




一番懐かしい頃を  
思い出してた

診察室









ありがとうね、  
出久のこと  
助けてくれて

...いや

勝己くんが  
助けてくれた  
んでしょ？



勝己くん



昨日の夜  
出久が  
言ってたのよ  
...寝言で

「かっちゃんは  
僕のヒーローだ」  
って...



...ッ、  
おばさん



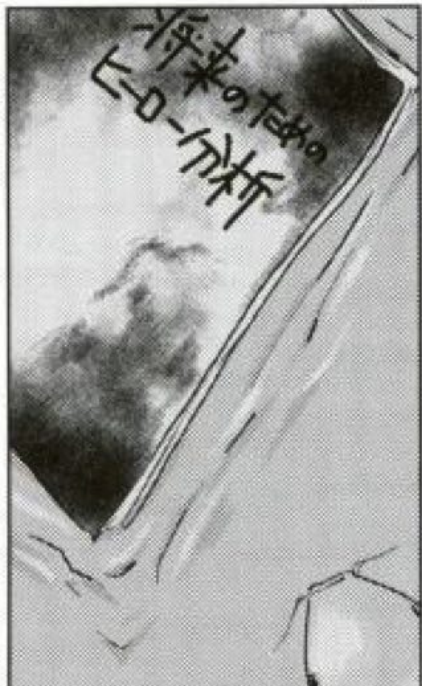
子供のときと  
同じね



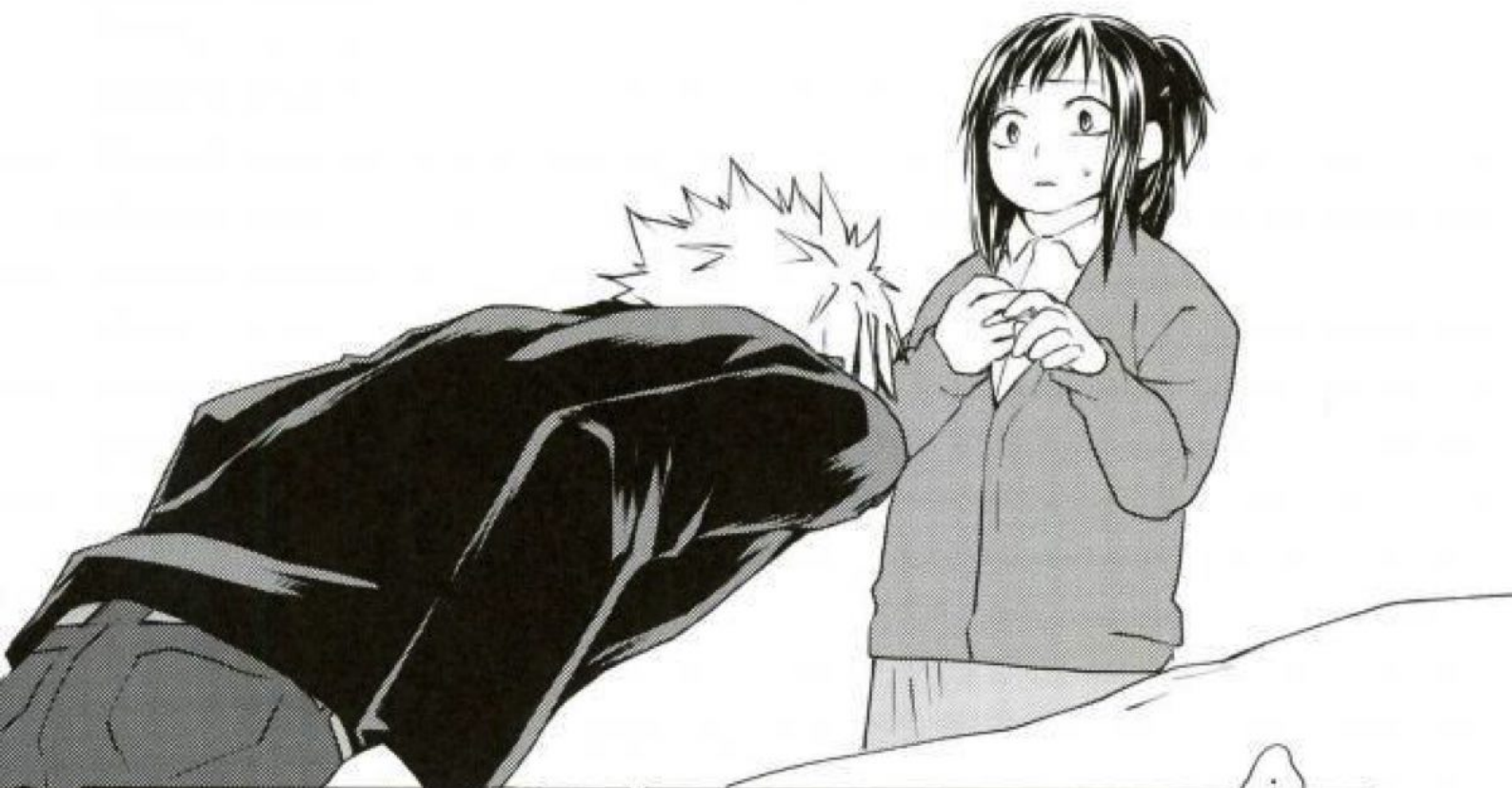




俺は、  
あんたに  
謝らなきゃ  
ならない  
ことがある







もう一つ、  
謝んなきゃ  
なんねえこと  
があるんです



……  
それは、

謝る相手が  
違うわ、

勝江くん









こいつが  
好きです



こいつに過去  
俺がやったこと  
つけた傷  
踏みにじった心

全部棚上げて  
それでも言いたい



俺は

こいつの未来から  
俺がいなくなるのが  
いやです







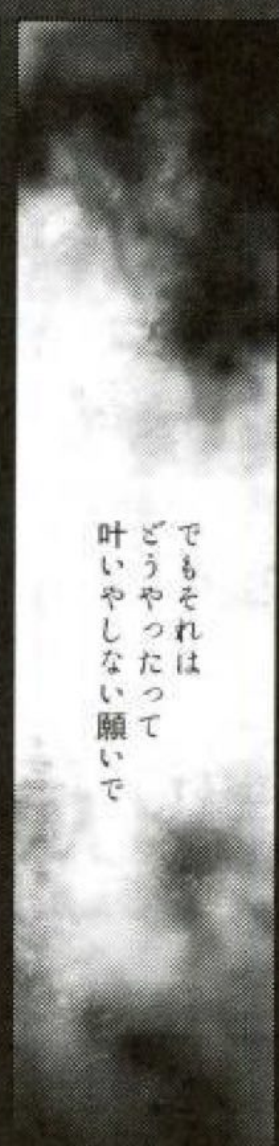


今の僕を！  
ちやんと  
見てるのかって  
聞いてるんだ!!



僕らは無常にも  
大人になる

その過程で



でもそれは  
どうやったって  
叶いやしない願いで



子供のままで  
いたかった



子供の頃に  
戻りたかった



君は君で  
悩み苦しんで  
感情のジレンマに  
潰されそうになって



それすら認める  
ことも苦しくて



ずっとずっと  
言葉を求めて



でも



これが君の答えなら

キ  
ハ  
ハ







...出久ッ!

デク...ッ



おかあさん



僕は過去も現在も未来も彼を好きで居続けたい



僕はこの人が

大好きです

好きです

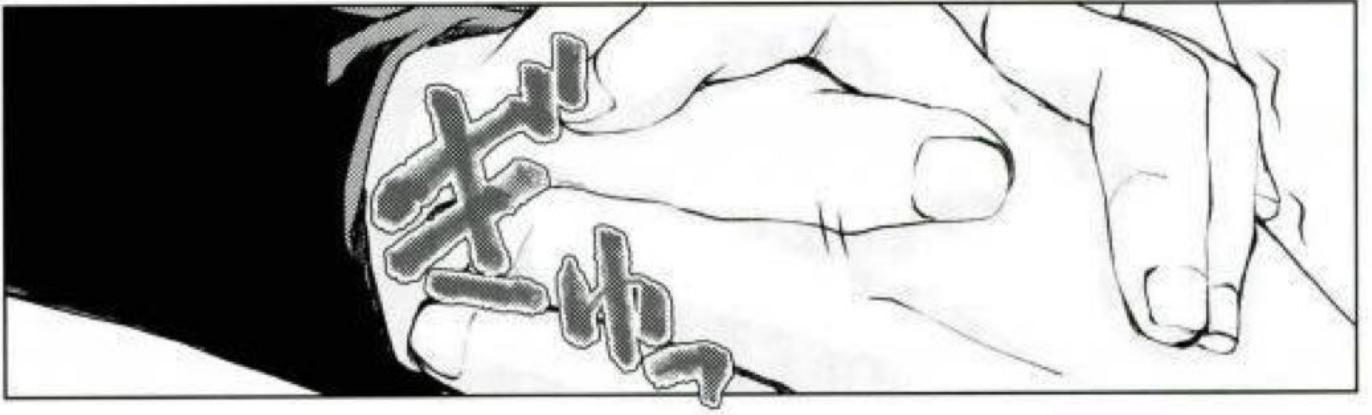


憧憬を捨てて

畏怖を捨てて

憎悪を捨てて

嫉妬を捨てて



真白な目で見た  
幼なじみに、  
キスがしたい  
と思ったのは

きつとお互い様だったのだ









諦念抱いて愛を叫ぶ

MHA unofficial fan book  
Midoriya Izuku \* Bakugou Katsuki  
presented by Cielo